



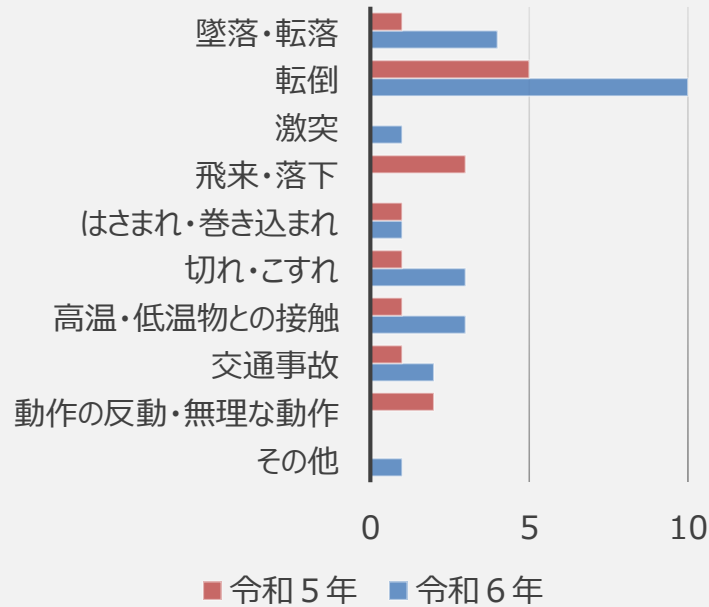
飲食店で労働災害が増加しています！

大阪中央労働基準監督署管内における飲食店の令和6年4月末現在の休業4日以上の死傷者数は、25人で、前年同期と比較すると、**66.6%の増加**となっています。

事故の型別でみると**転倒によるものが最多**で、飲食店においては、水や油を使用する機会が多く、作業スペースが狭隘なことも多いため転倒災害が増加する傾向にあります。

また、特に高年齢労働者が転倒した場合には重傷化する割合も高いので、「お客様のための安全」とともに「**働く人の安全**」にも意識を向けていただき、今一度、労使が一体となって労働災害防止対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

事故の型別 前年同期比較



転倒災害の主な要因

<p>滑り</p> <p><主な原因></p> <ul style="list-style-type: none"> 床が滑りやすい素材である。 床に水や油が飛散している。 ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている。 	<p>つまずき</p> <p><主な原因></p> <ul style="list-style-type: none"> 床の凹凸や段差がある。 床に荷物や商品などが放置されている。 	<p>踏み外し</p> <p><主な原因></p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態で作業している。
--	--	--

転倒災害防止対策のポイント

<p>4S (整理・整頓・清掃・清潔)</p> <ul style="list-style-type: none"> 歩行場所に物を放置しない 床面の汚れ(水、油、粉など)を取り除く 床面の凹凸、段差などの解消 	<p>転倒しにくい作業方法 「あせらない 急ぐときほど 落ち着いて」</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間に余裕を持って行動 滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行 足元が見えにくい状態で作業しない 	<p>その他の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業に適した靴の着用 職場の危険マップの作成による危険情報の共有 転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起
---	--	---

